

# 在スロバキア日本国大使館

## 政治・経済月報（2022 年 11 月）

### 目 次

|                                                |   |
|------------------------------------------------|---|
| <b>ロシアによるウクライナ侵攻</b>                           |   |
| ◆ウクライナ情勢への軍事的対応                                | 2 |
| ◆ウクライナからの避難民への対応                               | 3 |
| <b>新型コロナウイルス</b>                               |   |
| ◆11月31日現在の感染情報等                                | 3 |
| <b>内 政</b>                                     |   |
| ◆外国人同性パートナーの滞在許可に関するジリナ県裁判所判決                  | 3 |
| ◆繰上げ総選挙に関する国民投票の実施日の公表                         | 4 |
| ◆政党支持率調査結果                                     | 4 |
| ◆チャプトヴァー大統領の一般教書演説                             | 5 |
| <b>外 政</b>                                     |   |
| ◆不法移民に係るチェコ及びオーストリアの国境管理、スロバキア国内の国境監視の状況       | 5 |
| ◆オルバーン・ハンガリー首相の「大ハンガリー」の地図入りスカーフ着用に対するスロバキアの反応 | 6 |
| ◆V4首脳会合の開催及びV4国会議長会合の延期                        | 6 |
| <b>経 済</b>                                     |   |
| ◆曙ブレーキ・スロバキアの事業拡大                              | 7 |
| ◆電気自動車用電池メーカーInoBat社の電池生産計画の進捗状況               | 7 |

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

## ロシアによるウクライナ侵攻

### ◆ウクライナ情勢への軍事的対応

【ドイツ国防省との覚書署名、ドイツからスロバキアへの戦車供与（１１月１５日付国防省プレスリリース）】

１１月１５日、スロバキア国防省は、ウクライナに供与され破損したドイツ製軍装備品の修理をミハロウツェ（スロバキア東部）の軍部隊で修理する（修理費はドイツ側が全額負担）ドイツ国防省との覚書に署名した。数週間後にも修理が開始される予定である。

また同日、スロバキア国防省は、ドイツ国防省及びラインメタル社との間で、スロバキアがウクライナに３０両のソ連製BVP-1歩兵戦車を供与する見返りに、ドイツから１５両のレオパルド2A4戦車を受け取ることに関する合意に署名した。最初のレオパルド2A4戦車は、今年中にスロバキアに引き渡され、残りの戦車は２０２３年中に全て引き渡される予定であり、今後数週間のうちに、操縦士の訓練がドイツで開始される予定である。

【ポーランドにおける爆発事案発生に対する要人の反応（１１月１５～１６日付プレスリリース等）】

１１月１５日、ウクライナ国境沿いのポーランド領内にミサイルが着弾し２名の犠牲者が発生したことを受け、チャプトヴァー大統領、ヘゲル首相、カーチエル外相及びナジ国防相はフェイスブックやツイッターにコメントを返し、国防省は１５日に、首相府は１６日にプレスリリースを発した。

（１）チャプトヴァー大統領は、ポーランドでの事案に憂慮しており、今後数時間以内の事態全体の評価を待つとコメントした。ポーランドに対する支持と連帯を表明し、私は犠牲者の遺族と共にあると述べた。

（２）ヘゲル首相は、憂慮しながらポーランドでの事案をフォローしているとコメントし、ポーランドに対する支持と連帯を表明した。

（３）カーチエル外相は、ポーランドからのニュースに深く憂慮しているとコメントし、連帯を表明、迅速な調査を支持すると述べた。

（４）ナジ国防相は、１５日にツイッターで「ポーランドでのロシアのミサイル投下に非常に憂慮している」とコメントをしたが、翌１６日フェイスブックには「ロシアの侵略がなければ、ミサイルがポーランドに飛来することはなかった。直接的にせよ、間接的にせよ、ポーランドは昨日（１５日）、ロシアの侵略者の犠牲となった」、「この悲しい出来事の背景はともかく、ロシアの戦争によって２人のポーランド人の命が犠牲になったのである」と軌道修正をした。

**【スロバキアによるウクライナへのズザナ2自走榴弾砲提供（11月18日付国防省プレスリリース）】**

11月18日、国防省は、スロバキアがウクライナに有償供与を表明した8両のズザナ2自走榴弾砲のうち7両目をウクライナに引き渡したと発表した。最後の8両目も近々ウクライナに供与できる予定である。

**【ドイツとの合意に基づくスロバキアからウクライナへの歩兵戦闘車（IFV）供与（11月29日付国防省プレスリリース）】**

11月29日、スロバキア国防省は、ドイツとの二国間合意に基づき、ウクライナに供与予定であった30両のソ連製BVP-1歩兵戦闘車（IFV）の最後の1両をウクライナに引き渡したと発表した。ドイツがスロバキアに供与予定の15両のレオパルド2A4戦車のうち最初の1両が、12月にスロバキアに到着する予定になっている。2023年は、毎月1～2両のペースでレオパルド2A4戦車がドイツからスロバキアに引き渡され、同年末までには全15両がスロバキアに納入される予定である。

**◆ウクライナからの避難民への対応**

**【11月30日現在の避難民数等】**

- （1）累計99万6437人がウクライナからスロバキアに入国。直近24時間で2189人が入国。
- （2）累計77万2958人がスロバキアからウクライナに出国。直近24時間で1895人が出国。
- （3）累計10万2278人が一時的庇護（一時保護）を申請。

**新型コロナウイルス**

**◆11月30日現在の感染情報等**

- （1）11月のPCR検査に基づく新規感染者数は3299人（10月は8655人）、11月の死者数は125人（10月は150人）。
- （2）11月30日現在のPCR検査に基づく累積感染者数は185万6083人（前日比+130人）。同日のPCR検査件数は803件。
- （3）11月30日現在の累積死者数は2万734人（前日比+1人）。

**内 政**

**◆外国人同性パートナーの滞在許可に関するジリナ県裁判所判決（11月2日付スメ紙）**

10月31日、ジリナ県裁判所は、アルゼンチンでスロバキア人男性と結婚

した同性アルゼンチン人パートナーに対して、スロバキア人と同性婚関係にあることを理由に、スロバキアでの滞在許可付与を間接的に認める判決を下した。スロバキア人と同性婚関係にある同アルゼンチン人は、スロバキアでは同性同士の結婚が法律上認められていないことを理由に、外国人警察当局から配偶者ビザの申請を却下されたことを受けて、ジリナ県裁判所で外国人警察当局を相手に行政訴訟を起こしていた。

ジリナ県裁判所は、「今回の申請却下は、性的指向を理由とする不当な差別であり、私生活・家族生活の尊重及び居住の自由の侵害であることが確認された」として、原告の主張を全面的に支持した。ジリナ県裁判所は、本件で滞在許可を付与するか否かを決定する際に、欧州人権裁判所の2016年判決（イタリアにおける同様の訴訟で、外国人の同性パートナーに滞在許可を付与する問題に関し、性的指向は差別を正当化する理由とはみなされないという見解を示した判決）を尊重するよう外国人警察に義務付けた。ジリナ県裁判所の判決は、この種のものとしては、スロバキアで初めてである。

このジリナ県裁判所の判決に対して、国は上訴することが可能であり、上訴した場合、最高裁判所が最終判断することになる。ジリナ県裁判所の判決後、外国人警察当局は、上訴するか否かを明言していない。もし国が上訴せずに、本判決が確定した場合、他の同様の事案でも本判決は拘束力を持つことになる。

#### ◆繰上げ総選挙に関する国民投票の実施日の公表（11月3日付大統領府プレスリリース）

11月3日、チャプトヴァー大統領は、繰上げ総選挙に関する国民投票を2023年1月21日（土）に実施することを4日に宣言すると発表した。国民投票では、「憲法改正により、国会任期の早期終了を国民投票又は国会決議で可能にすることに賛同するか」という質問について有権者が決定する。国民投票の実施日は、外国からの郵便投票の申請の可能性を導入した新たな改正法を考慮し、大統領が設定した。スロバキアに永住していない有権者、永住しているが国民投票時に国外にいる有権者は、永住国の内務省又は自治体に対して書面又は電子媒体で郵便投票を申請することが可能である。

#### ◆政党支持率調査結果（11月24日付スメ紙電子版）

世論調査機関 AKO による政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。

| 政党                | AKO   | 2020 年選挙 |
|-------------------|-------|----------|
| Hlas-SD（声-社会民主主義） | 19.5% | —        |

|                             |       |        |
|-----------------------------|-------|--------|
| Smer-SD（方向-社会民主主義）          | 16%   | 18.29% |
| PS（プログレッシブ・スロバキア）           | 11.5% | ※6.96% |
| SaS（自由と連帯）                  | 10.8% | 6.22%  |
| OLaNO（普通の人々・独立した人達）         | 7.5%  | 25.02% |
| Sme rodina（我々は家族）           | 6.9%  | 8.24%  |
| Republika（共和国）              | 6.3%  | —      |
| KDH（キリスト教民主運動）              | 6.1%  | 4.65%  |
| SNS（スロバキア国民党）               | 4.2%  | 3.16%  |
| Aliancia（同盟）                | 2.6%  | —      |
| LSNS（我々のスロバキア）              | 1.9%  | 7.97%  |
| Za ľudí（人々のために）             | 1.9%  | 5.77%  |
| Madarske forum（ハンガリー・フォーラム） | 1.8%  | —      |

※PS／Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

#### ◆チャプトヴァー大統領の一般教書演説（11月29日付大統領府プレスリリース）

11月29日、チャプトヴァー大統領は国会において一般教書演説を行い、「多くの重要な改革、野心的な復興計画の実施、法執行や汚職との戦いにおける前向きな進展と並行して、本年の国内政治は前例のない混乱を招いた。国民は、誰が政治を動かし、誰が野党なのか分からなくなっている。連立政権の政治家は、互いに野党以上の敵となり、連立パートナーが離脱するに至るまで互いに攻撃し合った」、「このままでは、国民の残された信頼と社会のまとまりを破壊しかねない。もし、連立政権がこの状況を覆すことができないのならば、政治的危機が深刻な民主主義の危機に発展する可能性がある。その場合、新たな国民の代表者を国民に選ばせた方が良いでしょう」と述べた。

#### 外 政

#### ◆不法移民に係るチェコ及びオーストリアの国境管理、スロバキア国内の国境監視の状況等（10月28日～11月2日付当地報道）

チェコ内務省は、10月28日まで実施予定であったチェコ・スロバキア間の国境における国境管理をさらに45日間延長し、12月12日まで実施することを決定した。

オーストリア内務省は、チェコ内務省がチェコ・スロバキア間の国境管理を45日間延長したことを受けて、オーストリア・スロバキア間の国境における国境管理を同様に45日間延長し、12月12日まで実施することを決定し

た。

ミクレツ内務相は、「現在、ハンガリーよりもチェコからより多くの移民がスロバキアに入国している。チェコは移民の再入国合意を遵守しておらず、スロバキアからの移民を受け入れようとしない。このような形で活動することはできない。チェコ側と積極的に協議する必要がある。チェコと協議と同時に、ＥＵレベルでの協議も継続している」と述べた。

#### ◆オルバーン・ハンガリー首相の「大ハンガリー」の地図入りスカーフ着用に対するスロバキアの反応（１１月２２日付Dennik N紙電子版）

１１月２０日、ハンガリー対ギリシャのサッカー試合をシーヤールトー・ハンガリー外相と共に観戦していたオルバーン・ハンガリー首相が、スロバキア、オーストリア、クロアチア、ルーマニア、セルビア、ウクライナの一部を含む大ハンガリーの地図が描かれたファン・スカーフを着用している映像が報じられたことを受けて、関連する中欧諸国から批判が上がった。２１日、カーチエル外相は自身のフェイスブックにて、オルバーン首相の振る舞いに関して、「隣国政府の振る舞いを疑問視している。我々を傷付け、血圧を上がらせるような多くの事柄に関して他国がブダペストを批判している時でも、我々は非常に控え目であり、ＥＵ諸国には類例のない分裂的な振る舞いに対しても我々は寛容だ。しかし、我々の関係において、民族統一主義や修正主義の余地はない」とコメントした。

#### ◆Ｖ４首脳会合の開催及びＶ４国会議長会合の延期（１１月２４日付首相府プレスリリース、１１月２３日付ＴＡＳＲ通信）

１１月２４日、Ｖ４首脳会合がコシツェで開催され、Ｖ４各国首脳は、不法移民問題に関し、ハンガリーを支援することを約束し、欧州委員会に対して移民危機対応への支援を要請した。ポーランドのモラヴィエツキ首相は、欧州委員会により提案されたロシア産ガスの上限価格が高額すぎる点を指摘し、利用可能な手段を迅速に駆使するよう欧州委員会に要請した。また、チェコのフィアラ首相は、Ｖ４各国首相が、ウクライナの主権及び領土保全の必要性等の重要な議題に関して合意したと述べた。

１１月２３日、ユルツォヴァー・スロバキア国会広報部長は、２５日にブラチスラバで開催予定であったＶ４国会議長会合を延期し、２０２３年１月を軸に日程を再調整していると発表した。チェコ及びポーランドの国会上院及び下院両議長は、ロシアのウクライナ侵略に対するハンガリーの姿勢を理由にハンガリーとの対話は意味がないとして、同会合への出席を拒否したとされ、チェコ上院及び下院は副議長を出席させる意向だった。同国会広報部長は、「チェ

コ側から、公務の都合上、両議長が出席できない旨連絡があったが、両議長がハンガリー側との交渉を拒否していることをメディアを通じて知った。いずれにせよ、我々は、全てのV4国会議長との交渉の場を確保できるように務めるつもりであり、2023年1月を軸に新たな日程を再調整する」と述べた。

## 経 済

### ◆曙ブレーキ・スロバキアの事業拡大（10月28日付経済新聞電子版）

ブレーキ及び摩擦材の開発・製造のリーダーである曙ブレーキ・スロバキアは、スロバキアにおける存在感を高めている。親会社の業績回復及び新規契約獲得により、欧州自動車市場において更なる発展・拡大が見込まれている。

同社の2022年の売上高は、18%減の7623万ユーロであったにもかかわらず、10%の利益増（254万5000ユーロ）という好業績が達成された。これは、親会社によるスロバキアでの自動車用ブレーキの生産を中止するという過去の報道を覆す結果であり、曙ブレーキ・スロバキアは、従業員の追加募集を行う等、積極的な活動を展開している。

2019年、曙ブレーキは経営難を訴えたものの、最終的に債権者と合意し、債権者と債務整理を実施することができた。現在は、スロバキアにおける新プロジェクトを立ち上げており、同社の八束重毅社長は、「現在、ドイツの高級車メーカー向けの新しい高性能ブレーキのプロジェクトを準備しているところである」と述べ、経営難で閉鎖が迫っているとの憶測を明確に否定した。

### ◆電気自動車用電池メーカーInoBat 社の電池生産計画の進捗状況（11月21日当地報道）

11月21日、電気自動車用電池メーカーInoBat 社は、スロバキア西部のヴォデラディ（Voderady）で、2023年に電気自動車用電池を生産開始予定であると公表した。生産ラインは、中国Wuxi Lead 社のもので、既にスロバキアへの出荷準備を進めており、2023年第1四半期中にスロバキアに到着予定。昨年InoBat 社が生産ラインをWuxi Lead 社から調達すると公表した際には、電池生産の開始予定時期を2022年と言及していた。また、InoBat 社は、スロバキア北部のキスツェ（Kysuce）に開発センターを立ち上げる予定。

（了）

# スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

